

『2020年4月1日』

NHK NEWS WEB

## 可児市に消毒液などを贈る

03月31日 19時34分



新型コロナウイルスへの感染の拡大防止に役立ててもらおうと、31日、名古屋市的一般社団法人が、可児市に消毒液などを贈りました。

消毒液などを贈ったのは、名古屋市の一般社団法人「ブレイクスルーバンク」です。

大規模な災害が起きた際、被災者に非常食としてパンを提供するなどの支援活動を行っている、去年12月、可児市と協定を結んでいました。

31日は、北森勝也代表理事ら3人が市役所を訪れ、「可児市が大変な事態と聞いてかき集めました。ぜひ一丸となって難局を乗り越えてください」と述べて、富田成輝市長に150ミリリットルのボトルで約2500本分にあたる量の消毒液と、除菌脱臭装置1台、約100万円相当の目録を手渡しました。

団体は、可児市で「クラスター」と呼ばれる、新型コロナウイルスに感染した人の集団が発生していることを受けて、災害時の協定を結んでいる岐阜県と愛知県の間で10の企業に呼びかけ、保管してあった消毒液を譲り受けたということです。富田市長は「資材が不足する中ありがたい。本庁舎や出先機関の市民が利用する所などで活用したい」と話していました。

## 中日新聞 朝刊

可児市内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、名古屋市の一般社団法人ブレイクスルーバンクは三十一日、銀イオン消毒液七千四百とオゾン脱臭機一台を可児市に寄付した。同市は昨年十二月、市内で災害が起きた時に同法人の「Helpan171」という助け合いネットワークを使い、企業や個人が備蓄するパンを提供してもらう協定を結んだ。ニュースで市内での感染を知った法人が、予防に役立ててもらおうと寄付を決め、協力企業など十社から備蓄品が集

まいったという。銀イオン消毒液は、アルコールアレルギーの人や子どもも安心して使うことができ、長時間の消毒効果がある。五倍に薄めて使用するため、七千四百で百五十以上のスプレーボトル二千五百本分になる。同法人の北森勝也代表理事が富田成輝市長に目録を手渡し、「予断を許さない状況で大変だろうが、一丸となってこの難局を乗り越えて」とエールを送った。市は公共施設の消毒などに活用していく方針。(織田龍穂)

## 可児市に消毒液と脱臭機 名古屋の法人 感染拡大受け寄付



消毒液などの効果を富田市長等に紹介する北森代表理事（左から2人目）ら＝可児市役所で

## 中部経済新聞

可児市に消毒液とオゾン脱臭機寄付  
ブレイクスルーバンク



【可児】一般社団法人ブレイクスルーバンク（名古屋市瑞穂区、北森勝也代表理事）はこのほど、可児市に銀イオン消毒液とオゾン脱臭機を寄付した＝写真。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため。ブレイクスルーバンクは、企業・個人と連携...

## 可児市へ消毒液と脱臭機 名古屋の災害時協定の縁で贈る

東海地区で非常用の備蓄パンを災害時に融通するネットワークづくりを進めている一般社団法人ブレイクスルーバンク（名古屋市）が、可児市に消毒液約740とオゾン脱臭機1台を寄贈した。昨年12月にパン供給の協定を結んでいた縁で、北森勝也代表理事らが市役所を訪れ、富田成輝市長に目録を贈呈。「予断を許さない状況にあるが、一丸となって難局を乗り越えてほしい」とエールを送った。殺菌効果はアルコールよりも長時間見込めるという銀イオン消毒液で、希釈すると1500本のボトルで約2500本に相当する

の協定を結んでいた縁で、北森勝也代表理事らが市役所を訪れ、富田成輝市長に目録を贈呈。「予断を許さない状況にあるが、一丸となって難局を乗り越えてほしい」とエールを送った。殺菌効果はアルコールよりも長時間見込めるという銀イオン消毒液で、希釈すると1500本のボトルで約2500本に相当する

## 岐阜新聞 Web

鼻。脱臭機も除菌効果があり、救急車への搭載実績があるという。市内での新型コロナウイルス感染者拡大を受けて、賛同する岐阜市に10事業者が呼び掛けに応じて物品を寄せた。北代表理事は「困った時は助け合おうという理念の組織、一日も早く元気にまちに戻ってほしい」と話し、富田市長は「どれだけ対策をしても十分でない中、本当に感謝している。市民が多く集まる場所でも活用していきたい」と応えた。(原田大介)